

			ζ.	水/ 1/ 异洲//	ネ資料・実施詞	计四:	貝介	1'F	成日H 2	7 年	- 3	月	31 日作成	
+ 22 + W A			コミュニティプラン	√ト管理事業(芦ノ	原)		部局		市民部		単位番		4084	
事務事業名	□ 実施計画事業						所属課室 所属担当		環境課 È・自然エネルギー持	3当	課長名 担当者:		小笠原良仁 河野慎介	
基本政策	<u>基</u> [V	快適で心のかよい		予算科目		会計		款	項	目	細目細々目		
	本	0			了异符日		01	一般の制度による	04 .盖	01	05	020 07 設等維持管理事業		
政策	政策 計 20 快適生活環境の整備					事業	医分	□県	の制度による	義務	的事業	□ 補	助金交付事業	
施策	体 系	3	生活環境の保全		, ,		☑ 市の制度による義務的事業□ その他の事業□ 義務化されている協議会等の負担金							
事業期間		年度の∂ 間限定数	→ ☑ 単年度繰返 复数年度 (区 (開始年度 年度) ~ 年度)			入根拠							
事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度 務公共下水道が設置されたことに伴い、使用廃止にな事プラント内の環境保全を保つ。 業の概要				以降3年間の計画内容も記載 っている甲西地区芦原区コミュニティ			費の主 権 目 (細 質 品費	Ch訳 26年度 決算見 第) 金額(千円) 項 4 4				見込) 頁目(細節) 金額 計		
1 現状把握(D (1) 事務事業の目的	O)]と指標	Į.												
①活動	① 活動 定期的に現場の状況を確認し、環境保全を						⑤ 活動	動指標	(事務事業の	活動	量を表す	指標)	数字は記入しない	
26年度活動内容				∛境保全を行 つ。			ア現	昜の確	名称 〔認回数				単位 回	
27年度活動予定	定期的	に現場	の状況を確認し、環	境保全を行う。		⇒	イ除	草剤の	電認回数)散布量				Q	
② 対象(この事務事	業は	隹、何を	対象にしているの	のか) * 人や自然	資源等		⑥ 対象	象指標	፟፟፟(対象の大き	さをま	長す指標)数字に	は記入しない	
コミュニティプラント周	辺の住民	7					ア芦	京区=	名称 ヹコミュニティプラント数				単位 ヶ所	
					⇒	イウ	•••••		•••••					
③ 意図(この事務事	業により	対象を	どのような状態にし	ていくのか、どの。		⑦成	果指標	<mark>(対象における</mark> 名称	意図	の達成度を	を表す指	<mark>標)数字は記入しなし</mark> 単位		
周辺住民に迷惑がかっ	からない	よう管理	里する。			マ 陉昔佐業の同粉			旦		旦			
4 上位目的(どの。	くうな結	果に結	び付けるのか)				ウ <mark>⑧ 上(</mark>	立成集		D達成	度を表す	す指標)	数字は記入しなし	
周辺住民の生活環境	の保全。		••••••]	ア 住 l	えから	名称 の苦情数				単位 人	
						⇒	7			•••••				
						J	1							
(2) 事業費・指標の		単位	24年度 (決算·実績)	25年度 (決算·実績)	26年度 (決算見込·実績)		7年度 ·算·目標)		28年度 (計画·目標)		29年		最終 年度	
		千円									-			
年 財 国庫支間事源 源 地方		千円 千円 千円									-			
年 財 事 源 ル方 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	出金 1金 債 他	千円 千円 千円	(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込·実績)						-	目標)		
年 事 業 費 の の の の の の の の の の の の の	出金	千円 千円 千円 千円	(決算· 実績) 4	(決算・実績)	(決算見込·実績) 4			4		4	-	目標)	(トータルコスト・目標	
年間トータル 国庫支 第 第 第 第 一 一 般	出金 付 債 他 (A) 事人数	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 4 4 4 3	(決算・実績)	(決算見込·実績) 4 4 3		算•目標)	4 4 3		4 4 3	-	目標)		
年間トータルコス 国庫支方の 関源 の 一般	出金 債 他 が源 (A) 事人数	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 時間 日	(決算·実績) 4 4 4 12	(決算·実績) 3 3 3 12	(決算見込·実績) 4 4 4 3 12		算•目標)	3 12	(計画・目標)	3 2	-	14 4 4 3 12	(トータルコスト・目標	
年間トータルコスト 国庫支方の 国庫支方の 関源の内訳 事業費 一般財 事業職 一般財 事業職 一般財 事業職 一般財 本費計 人件費	出金 債 他 が源 (A) 事人数	千 千 千 一	(決算·実績) 4 4 4 12 55	(決算·実績) 3 3 3 12 55	(決算見込·実績) 4 4 4 3 12 55		算•目標)	3 12 55	(計画·目標)	3 2 5	-	4 4 4 3 12 55	(トータルコスト・目標	
年間トータルコス 国庫支方の 関源 の 一般	出金 は金 情 他 が源 (A) 事人数 事間 (B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 時間 日	(決算·実績) 4 4 4 12	(決算·実績) 3 3 3 12	(決算見込·実績) 4 4 4 3 12		9 · 目標)	3 12	(計画·目標)	3 2	-	14 4 4 3 12	(トータルコスト・目標	
年間トータルコスト 国庫支方の 国庫支方の 関源の内訳 事業費 一般財 事業職 一般財 事業職 一般財 事業職 一般財 本費計 人件費	出金 は金 情 他 が源 (A) 事人数 事間 (B)	千円 千円 千円 十一 千円 千円 千円 千円 千円 十一 千円 十一	(決算·実績) 4 4 4 3 12 55 59	(決算·実績) 3 3 3 12 55 58	(決算見込·実績) 4 4 4 3 12 55 59		算・目標)	3 12 55 59	(計画·目標) 1 5 6 7 7 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	3 2 5 9	-	4 4 3 12 55 59	(トータルコスト・目標	
年間トータルコスト 国庫支出 国庫支出 財源内訳 一変 一番 実費 一次 一般計 正延 一件費 人件費 (A)+(B) 活動指標	出金 (債 (A) (A) (A) (B) アイウア	千千千千八十十二	(決算·実績) 4 4 4 55 59 2.0	(決算·実績) 3 3 3 12 55 58 2.0	(決算見込·実績) 4 4 4 3 12 55 59		算・目標)	3 12 55 59 2.0	(計画·目標) 1 5 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	3 2 5 9	-	4 4 4 3 12 55 59 2.0	(トータルコスト・目標	
年間 事業費 リ源内訳 事業費 一一費 一一要計 (A)+(B)	出金 (債 (A) (A) (A) (B) アイウア	千千円 千八 時 千円 🔍	(決算·実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0	(決算·実績) 3 3 3 12 55 58 2.0 0.0	(決算見込·実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0		算・目標)	3 12 55 59 2.0	(計画·目標) 1 5 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	3 2 5 9 .0	-	4 4 3 12 55 59 2.0 0.0	(トータルコスト・目標	
年間トータルコスト 財源内訳 事業費 人(A)+(B) 活動指標 対象指標	出金 位 (A) 手間 (B) アイウ	千千円 千八 時 千円 🔍	(決算·実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0	(決算·実績) 3 3 3 12 55 58 2.0 0.0	(決算見込·実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0		算•目標)	3 12 55 59 2.0	(計画·目標) 1 E ((((((((((((3 2 5 9 .0	-	4 4 3 12 55 59 2.0 0.0	(トータルコスト・目標	
年間トータルコスト 国庫支出 国庫支出 財源内訳 一変 一番 実費 一次 一般計 正延 一件費 人件費 (A)+(B) 活動指標	出金 (M) (A) (A) (B) (B) (P) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	千円 千円 千円 千円 千円 千円 中 1 少所 0	(決算·実績) 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0	(決算·実績) 3 3 3 12 55 58 2.0 0.0 1.0	(決算見込·実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0	(3	算・目標)	3 12 55 59 2.0 0.0	(計画·目標) 1 5 6 7 7 7 8 8 8 9 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3 2 5 9 .0 .0 .0 .0 .0	-	4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0	(トータルコスト・目標) 0 0 0	
年間トータルコスト 財源内訳 事業費 人(A)+(B) 活動指標 対象指標	出金 (情他) (A) (A) (B) アイウアイウアイ	千円 千円 千円 千円 千円 一 0 0	(決算·実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0	(決算·実績) 3 3 3 12 55 58 2.0 0.0	(決算見込·実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0	(3	算・目標)	3 12 55 59 2.0 0.0	(計画·目標) 1 5 6 7 7 7 8 8 8 9 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3 2 5 9 .0 .0	-	4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0	(トータルコスト・目標) 0 0 0	
年間トータルコスト 国庫支方の 事業費	出金 (Ma) (A) (B) (P) イウアイウアイ 参	千円 千円 千円 千円 一 0 ケ所 人 状況(5	(決算·実績) 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 1.0	(決算・実績) 3 3 3 12 55 58 2.0 0.0 1.0 1.0	(決算見込·実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 1.0	(3	算・目標)	3 112 55 59 2.0 0.0 1.0	(計画·目標) 1 5 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	3 2 5 9 .0 .0 .0	(計画·E	4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0	(トータルコスト・目標) 0 0 0	
年間トータルコスト 事業費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	出金 (Ma) (A) (B) (P) イウアイウアイ 参	千円 千円 千円 千円 一 0 ケ所 人 状況(5	(決算·実績) 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 1.0	(決算·実績) 3 3 3 12 55 58 2.0 0.0 1.0	(決算見込·実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 1.0	(3	算・目標)	3 112 55 59 2.0 0.0 1.0	(計画·目標) 1 5 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	3 2 5 9 .0 .0 .0	(計画·E	4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0	(トータルコスト・目標) 0 0 0	
年間トータルコスト 事業費	出金 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	千千千千千十十一日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日	(決算・実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 1.0 0.0 対象者・社会状況 幸で開始されたの または5年前と	(決算・実績) 3 3 3 12 55 58 2.0 0.0 1.0 1.0	(決算見込・実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 1.0 0.0	がしてい	算・目標) ・ ・ たが、 平	3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 2.0	(計画・目標)	3 2 5 5 9 .0 .0 .0 .0	首が設置	4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0	(トータルコスト・目標 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
年間トータルコスト 関源内訳 事業費	出金 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	千千千千十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	(決算・実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 1.0 0.0 対象者・社会状況 幸で開始されたの 言または5年前と 今後の予測は?	(決算・実績) 3 3 3 12 55 58 2.0 0.0 1.0 1.0 1.0 2等) の変化、市長平成3年よりコミュニた。	(決算見込・実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 1.0 0.0	がしてい	算・目標) ・ ・ たが、 平	3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 2.0	(計画・目標)	3 2 5 5 9 .0 .0 .0 .0	首が設置	4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0	(トータルコスト・目標 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
年間トータルコスト 事業費	出 (千千千千千十一日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日	(決算・実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 1.0 0.0 対象者・社会状況 章で開始されたの 言または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議	(決算・実績) 3 3 3 12 55 58 2.0 0.0 1.0 1.0 1.0 2等) の変化、市長平成3年よりコミュニた。	(決算見込・実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 1.0 0.0	がしてい	算・目標) ・ ・ たが、 平	3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 2.0	(計画・目標)	3 2 5 5 9 .0 .0 .0	首が設置	4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0	(トータルコスト・目標 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
年間トータルコスト 事業費 事業費 人件費 人件費 人件費 大の事務が表示。 「① ののでである。 「② 上の事務をもいって、対して、ののでである。 「③ こののでである。 「③ こののでである。 「④ 一変し、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対し	出金 (Man) (Man) (千千千八間十千千回。 ケ所 人 がな経経には、 大のな経経には、 大のなどは、 大のな経経には、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(決算・実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 1.0 0.0 対象者・社会状況 章で開始されたの 言または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議	(決算・実績) 3 3 3 12 55 58 2.0 0.0 1.0 1.0 1.0 2等) の変化、市長平成3年よりコミュニた。	(決算見込・実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 1.0 0.0	がしてい	算・目標) ・ ・ たが、 平	3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 2.0	(計画・目標)	3 2 5 5 9 .0 .0 .0	首が設置	4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0	(トータルコスト・目標 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
年間トータルコスト 国庫支方の 事業費	出 (千千千千千千十三 0 万所 回 人	(決算・実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 1.0 1.0 対象者・社会状況幸で開始されたの 幸で開始されたの 幸で開始されたの 事業が象者、議 せられているか?	(決算・実績) 3 3 3 12 55 58 2.0 0.0 1.0 1.0 1.0 2.0 0.0 1.0 1.0 0.0 1.0 1.0 0.0 1.0 1.0 0.0	(決算見込・実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 1.0 1.0 **Eまります。 **これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	(予 動して) で で で で で で で に 対	算・目標) ・	3 12 55 55 9 2.0 0.0 1.0 2.0 2.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1	(計画・目標)	3 2 5 5 9 .0 .0 .0 .0	首が設置	4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 2.0	(トータルコスト・目標 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
年間トータルコスト 国庫支方の 明源内訳 事業費 人件費 人件費 人件費 人件費 人件費 人件費 人件費 人件費 人件費 人件	出って (Mana) (Mana) (Man) (千千千千千千日 日 日 日 日 日 日 日	(決算・実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 1.0 1.0 対象者・社会状況 韓で開始されたの 詩または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議 せられているか? 大況・経過	(決算・実績) 3 3 3 12 55 58 2.0 0.0 1.0 1.0 1.0 2.0 0.0 1.0 1.0 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	(決算見込・実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 1.0 1.0 **Eまります。 **これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	(予 動して) で で で で で で で に 対	算・目標) ・	3 12 55 55 9 2.0 0.0 1.0 2.0 2.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1	(計画・目標)	3 2 5 5 9 .0 .0 .0 .0	首が設置	4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 2.0	(トータルコスト・目標 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
年間トータルコスト 国庫支 万の	出って (Mana) (Mana) (Man) (千千千千千千日 日 日 日 日 日 日 日	(決算・実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 1.0 1.0 対象者・社会状況幸で開始されたの 詩または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議せられているか? 大沢・経過 理由)	(決算・実績) 3 3 3 12 55 58 2.0 0.0 1.0 1.0 1.0 2.0 0.0 1.0 1.0 0.0 1.0 1.0 0.0 1.0 1.0 0.0	(決算見込・実績) 4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 1.0 1.0 **Eまります。 **これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	(予 動して) で で で で で で で に 対	算・目標) ・	3 12 55 55 9 2.0 0.0 1.0 2.0 2.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1	(計画・目標)	3 2 5 5 9 .0 .0 .0 .0	首が設置	4 4 4 3 12 55 59 2.0 0.0 1.0 2.0	(トータルコスト・目標 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	

	事務事業名	고ミ.	ュニティプラン	ト管理事業(芦原)		所属部	市民部	所属課	環境課	
2	評価(Check1)扎									
	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系 の施策に結びつき、貢献しているか? 意図が上位目的に結びついているか?		 □ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ■ 結びついている ⇒【理由↓】 施設の周辺住民の環境保全のためなので、施策に結びついている。 							
的	② 公共関与の妥当 この事務事業を税金を わなければならないの	投入して市が行	 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 □ 妥当である ⇒【理由↓】 市が管理する施設であるため妥当である。 							
性評	は可能か?		事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働							
価	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、こ の事務事業を将来にわたり、維持・継続 していくことは妥当か?目的や事業の必 要性を見直す余地はあるか?		 ✓ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 □ 適切である ⇒【理由↓】 平成22年度に下水道に接続が完了しているが、上屋と周辺管理のための除草作業となっている。 							
	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向 上させることはできるか?できない場合 は何が原因でできないのか?		▼ ある程度に □ 向上余地 除草作業に伴	可上余地がある ⇒ がない ⇒ う消耗品費の計上	【理由↓】 【理由↓】 【理由↓】	⇒ 3	平価 (Check2) • 4 [.] 平価 (Check2) • 4 [.]			
有効性評価	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか?類似事務事業がある場合、その 事務事業との統合や連携を図ることは できるか?		 ✓ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入↓) ✓ 統合・連携ができる ⇒ 【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映							
	⑥ 休止・廃止した時止・廃止の可能性 この事務事業を休止・ 響はあるか?また成果止・廃止することはでき	廃止した場合影 とから考えて、休	□ 影響なし□ 影響あり環境保全を保が発生する。	⇒【理由と影響の内 てなくなると例えば草の	7容↓】 の繁茂により、		☑ 休止・廃止ができた 休止・廃止できた 市有地であるため管	ない ⇒【理由」	.1	
効率性	⑦ 事業費の削減余 成果を下げずに事業費 できないか?(仕様や) 住民の協力など)	費(コスト)を削減 工法の適正化、	図 削減余地が □ 削減余地が 除草作業に伴		·具体案↓】 ↓】	⇒	3評価(Check2)	・4今後の方向	性に反映	
[] []	⑧ 人件費の削減余 成果を下げず人件費を か?(事業のやり方の 時間の削減や臨時職 託による削減はできる	を削減できない 見直しによる業務 員対応や外部委	☑ 削減余地/ □ 削減余地/ 職員が直接最	がない ⇒【理由		⇒	3評価(Check2)	・4今後の方向	性に反映	
平	事務事業の内容が一部 ていないか?受益者負	部の受益者に偏っ 負担を見直す必要	□ 見直し余地 ■ 公平・公正 声原団地全体	である ⇒【理由			3評価(Check2) れる。	・4今後の方向	性に反映	
3	評価(Check2)扎									
(1)	1次評価者としての ① 目的妥当性 □	適切 🗹 見直し	余地あり	<mark>(2)1次評価の総</mark> 括 特になし	5(事務事業を	を実施した	店果を振り返り気づい	<mark>たこと、課題、今</mark>	後の方向性等について	<u>C)</u>
		適切 ☑ 見直し								
	③ 効率性 □ 適切 ☑ 見直し余地あり □ ④ 公平性 ☑ 適切 □ 見直し余地あり □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □									
4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)										
	<mark>) 今後の事務事業の</mark> 廃止(目的妥当性①、(2性改善(公		3) 改革・改善に	よる方向性	
□ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) □ 成果向上(有効性④の結果) □ 現状維持(全評価項目で適切)					_		コスト水準			
□ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)□ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)□ 終了(2) 改革改善案(こついて						→ 削	- - 			
特	になし							成果 排 压		
)改革改善を実現する	る上で解決すべる	き課題とその解	了,我是是一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一			(5		止の場合は記入不要 <mark>度評価結果 平成26年</mark>	度
特	になし						, <u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>		5結果 ②	
							_	コスト削減優先」	度評価結果 6	